



平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 7 月 29 日

上場会社名 日本たばこ産業株式会社

コード番号 2914

代表者 代表取締役社長 木村 宏

問合せ先責任者 執行役員コミュニケーション責任者 田中 泰行

四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 13 日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東 大 名 札 福

URL <http://www.jti.co.jp/>

TEL (03) 3582-3111

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23 年 3 月期第 1 四半期	1,467,099 0.3	79,122 △6.1	71,586 △9.2	22,840 △46.7
22 年 3 月期第 1 四半期	1,463,121 △14.9	84,273 △23.7	78,814 8.6	42,869 153.5

	1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	2,384.18	2,383.65
22 年 3 月期第 1 四半期	4,474.90	4,474.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	3,861,632	1,724,224	42.7	172,076.95
22 年 3 月期	3,872,595	1,723,278	42.6	172,139.61

(参考) 自己資本 23 年 3 月期第 1 四半期 1,648,513 百万円 22 年 3 月期 1,649,114 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 3 月期	—	2,800.00	—	3,000.00	5,800.00
23 年 3 月期	—				
23 年 3 月期 (予想)		2,800.00	—	2,800.00	5,600.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

※ 平成 22 年 3 月期の 1 株当たり期末配当金は、普通配当 2,800 円に会社設立 25 周年記念配当 200 円を加えた金額です。

3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第 2 四半期 連結累計期間	— —	— —	— —	— —	—
通 期	5,980,000 △2.5	295,000 △0.5	276,000 8.1	133,000 △3.9	13,882.95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

※ 当社は、第 2 四半期連結累計期間の業績予想値を算出していないため、当該予想値につきましては記載をしております。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.7「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 (—) 除外 一社 (—)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無になります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23 年 3 月期 1Q	10,000,000 株	22 年 3 月期	10,000,000 株
--------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

23 年 3 月期 1Q	419,903 株	22 年 3 月期	419,903 株
--------------	-----------	-----------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23 年 3 月期 1Q	9,580,097 株	22 年 3 月期 1Q	9,580,080 株
--------------	-------------	--------------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、7 ページ及び「2011 年 3 月期第 1 四半期決算説明会資料」の将来に関する記述等についてのご注意をご参照ください。

添付資料 目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P6
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	P7
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P7
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P7
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	P8
(2) 四半期連結損益計算書	P10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P11
(4) セグメント情報	P13
(5) 継続企業の前提に関する注記	P17
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号)の適用開始に伴い、当連結会計年度より、マネジメント・アプローチに基づき、経営陣が経営上の意思決定等に使用する一連のセグメント情報を開示しております。

当該セグメント基準の適用に伴う、主な変更点は以下のとおりです。

i) 報告セグメント

マネジメント・アプローチに基づき報告セグメントを決定した結果、国内たばこ事業、海外たばこ事業、医薬事業、食品事業の各セグメントを報告セグメントといたしました。

ii) たばこ税売上高の開示

セグメント売上高として、新たにたばこ税相当額を控除したたばこ税売上高を開示することといたしました。これは、たばこ事業を営む当社グループの連結売上高の相当程度を占めるたばこ税については、事業を展開する世界各国でその課税の対象・根拠・課税標準等が異なることから、国内たばこ事業及び海外たばこ事業に係る経営上の意思決定等に使用する報告セグメント別の売上高として、たばこ税売上高を使用しているためです。

iii) EBITDAの開示

セグメント利益として、EBITDA(減価償却(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)及びのれん償却前の営業利益)を開示することといたしました。これはEBITDAを当社グループの経営意思決定及びセグメント別の利益指標として使用しているためです。

iv) セグメント利益の測定方法の見直しについて

セグメント利益につきましては、一部その測定方法について見直しを行いました。海外たばこ事業に区分される海外連結子会社においては、当社が保有するキャメル、ウィンストン等のブランド商標権等を使用してたばこ製品の製造・販売を行っており、当該ブランド商標権等の使用料(以下、ロイヤリティ)を当社に支払っております。従来、当該ロイヤリティのセグメント開示上の取り扱いにつきましては、国内たばこ事業のセグメント利益にロイヤリティ受取額を含めて測定し、海外たばこ事業のセグメント利益はロイヤリティ支払額控除後で測定しておりました。しかし、各々のセグメントの利益管理においては、ロイヤリティの受け払いの影響を除いていることから、セグメント利益からもこれらの影響を除くことといたしました。

また、マネジメント・アプローチの適用を機に、全社共通経費、資本的支出の各報告セグメントへの配分についても一部見直しております。

v) たばこ事業における調整後税売上高の内訳表示について

国内たばこ事業の売上高には、当社たばこ製品の売上高に加え、他社たばこ製品(輸入たばこ製品)の卸売販売等に係る売上高が含まれております。また同様に、海外たばこ事業の売上高についても、他社たばこ製品の卸売販売を含む物流事業等に係る売上高が含まれております。

国内たばこ事業及び海外たばこ事業の業績をご理解いただくにあたり、これらの他社たばこ製品の卸売販売等に係る売上高を控除した売上高が有用であると考え、これを調整後税売上高として開示することといたしました。なお、調整後税売上高測定のための調整内容につきましては3ページ(注)をご参照ください。

①全般的概況

売上高

国内たばこ事業における販売数量減少に伴う売上高の減少を、海外たばこ事業における単価上昇効果及び前年同期に比べ主要市場の現地通貨が有利に推移した影響が相殺し、前年同期と同水準の1兆4,670億円（前年同期比0.3%増）となりました。たばこ税抜売上高につきましても、前年同期と同水準の6,014億円（前年同期比0.6%減）となりました。

	2010年3月期 第1四半期 (億円)	2011年3月期 第1四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結売上高	14,631	14,670	39	0.3
国内たばこ事業	7,797	7,253	△543	△7.0
海外たばこ事業	5,683	6,288	604	10.6
医薬事業	111	118	6	6.2
食品事業	988	962	△26	△2.7

※ 外部売上高で表示しております。

※ 連結売上高には、上記の他、不動産賃貸等に係るその他の売上高があります。詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表 (4) セグメント情報 3. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容」をご参照ください。

連結売上高からたばこ税相当額を控除した、たばこ税抜売上高は以下のとおりです。

	2010年3月期 第1四半期 (億円)	2011年3月期 第1四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結売上高	14,631	14,670	39	0.3
たばこ税相当額	8,582	8,656	73	0.9
たばこ税抜売上高	6,048	6,014	△34	△0.6

※ 2010年3月期第1四半期のたばこ税抜売上高は非監査の参考情報です。

国内たばこ事業及び海外たばこ事業別のたばこ税抜売上高等の情報は以下のとおりです。

〔国内たばこ事業〕

	2010年3月期 第1四半期 (億円)	2011年3月期 第1四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
たばこ税込売上高	7,797	7,253	△543	△7.0
たばこ税抜売上高	2,599	2,423	△175	△6.8
内、調整後税抜売上高 ^(注)	1,583	1,461	△122	△7.7

(注) 国内たばこ事業においては輸入たばこ、国内免税、中国事業等に係る売上高を控除しております。

〔海外たばこ事業〕

	2010年3月期 第1四半期 (億円)	2011年3月期 第1四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
たばこ税込売上高	5,683	6,288	604	10.6
たばこ税抜売上高	2,298	2,461	163	7.1
内、調整後税抜売上高 ^(注)	2,013	2,151	137	6.8

(注) 海外たばこ事業においては物流事業、葉たばこ販売、製造受託等に係る売上高を控除しております。

※ 国内たばこ事業及び海外たばこ事業の2010年3月期第1四半期のたばこ税抜売上高及び調整後税抜売上高については、非監査の参考情報です。

営業利益/EBITDA

国内たばこ事業における減収影響を主因として、また、海外たばこ事業における葉たばこ価格の上昇を受けた売上原価の増加等が一部影響し、営業利益は前年同期比 51 億円減益の 791 億円（前年同期比 6.1%減）となりました。また、EBITDA につきましては、国内たばこ事業における一部商標権の償却終了等により減価償却費が 47 億円減少したことから、前年同期比 98 億円減益の 1,326 億円（前年同期比 6.9%減）となりました。

	2010 年 3 月期 第 1 四半期 (旧会計基準) (億円)	2010 年 3 月期 第 1 四半期 (新会計基準) (億円)	2011 年 3 月期 第 1 四半期 (新会計基準) (億円)	前年同期比増減 (新会計基準) (億円、%)	
営業利益	842	842	791	△51	△6.1
EBITDA	1,425	1,425	1,326	△98	△6.9
国内たばこ事業	696	670	583	△86	△12.9
海外たばこ事業	679	740	728	△11	△1.5
医薬事業	△23	△23	△20	2	—
食品事業	38	38	40	1	5.1

※ EBITDA には、上記の他、その他の売上高に係る EBITDA 等があります。詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表 (4) セグメント情報 3. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容」をご参照ください。

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却を含む）

※ セグメント情報の新会計基準に基づく 2010 年 3 月期第 1 四半期の各数値については、非監査の参考情報です。

経常利益

受取利息の減少を借入金の返済及び社債の償還等に伴う支払利息の減少が上回り、金融損益は改善したものの、為替差損を計上したこと等から営業外損益は 20 億円悪化しました。営業利益までの 51 億円の減益をあわせ、経常利益は前年同期比 72 億円減益の 715 億円（前年同期比 9.2%減）となりました。

四半期純利益

固定資産売却益の減少に加え、カナダにおける行政法規違反に係る過料の支払に伴う損失計上等により、特別損益は 224 億円悪化しました。経常利益までの 72 億円の減益とあわせ、税金等調整前四半期純利益は前年同期比 296 億円減益の 539 億円となりました。四半期純利益は、利益の減少により法人税等の計上額が 97 億円減少したこと等から、前年同期比 200 億円減益の 228 億円（前年同期比 46.7%減）となりました。

②事業別の概況

〔国内たばこ事業〕

当第1四半期における紙巻たばこの販売数量は、前年同期に対し30億本減少し、359億本^(注)（前年同期比7.9%減）、シェアについては64.5%（前年同期比0.6ポイント減）、千本当税売上高は4,054円となりました。

これらは、主に少子化や高齢化の進展等といった構造的な要因に加えて、2010年10月実施予定の増税・定価改定の影響による需要の減少によるものです。加えて、前年度末にかけてマイルドセブン・ファミリーのブランド強化施策の実施に伴い店頭在庫が増加した一時的な要因等も影響しております。しかしながら、当社が特に注力しているブランドの内、セブンスター・ファミリー及びピアニッシモ・ファミリーにおいては、前年度からの新製品の投入、ブランドの育成及び積極的な販売促進活動等により順調に推移しており、またマイルドセブン・ファミリーにおいては、2010年7月に「マイルドセブン・アクア・スカッシュ・メンソール7・ボックス」を発売するなど、引き続きブランド価値の向上に努めております。

また、“火を使わず煙が出ない”まったく新しいスタイルの無煙たばこ「ゼロスタイル・ミント」を地域限定で発売するなど、嗜好品であるたばこをより楽しんでいただくために、味・香りなどの品質向上はもとより、紙巻たばこに限らず、広く商品の開発に取り組み、お客様の多様なニーズにお応えしていくことで、今後もお客様満足の向上に努めてまいります。

この結果、販売数量の減少により、たばこ税売上高は前年同期比175億円減収の2,423億円（前年同期比6.8%減）、調整後税売上高は前年同期比122億円減収の1,461億円（前年同期比7.7%減）、EBITDAは前年同期比86億円減益の583億円（前年同期比12.9%減）となりました。

（注）当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第1四半期における販売数量9億本があります。

〔海外たばこ事業〕

当第1四半期におけるGFB^(注1)の販売数量は、「ウィンストン」がフィリピン、フランスで、「キャメル」がトルコ、ウクライナで順調に伸張しました。しかしながら、ロシア等での総需要減少に加え、イランにおける不安定な事業環境の影響等により、GFBの販売数量は前年同期に対し25億本減少し546億本（前年同期比4.4%減）、GFBを含む総販売数量は前年同期に対し69億本減少し、941億本^(注2)（前年同期比6.8%減）となりました。

当第1四半期においては、販売数量の減少はあるものの、単価上昇効果に加えて、主要市場の現地通貨が、海外たばこ事業の決算を連結する子会社において使用する米国ドルに対して前年同期比で有利に推移したことから、ドルベースのたばこ税売上高は前年同期比263百万ドル増収の2,715百万ドル（前年同期比10.7%増）、調整後税売上高は前年同期比224百万ドル増収の2,372百万ドル（前年同期比10.4%増）となりました。一方、EBITDAは、葉たばこ価格の上昇を受けた売上原価の増加等から、前年同期比15百万ドルの微増となり、804百万ドル（前年同期比1.8%増）となりました。

これらに加え、邦貨換算時に円高の影響を受けたことから、たばこ税売上高は前年同期比163億円増収の2,461億円（前年同期比7.1%増）、調整後税売上高は前年同期比137億円増収の2,151億円（前年同期比6.8%増）、EBITDAは前年同期比11億円減益の728億円（前年同期比1.5%減）となりました。

（注1）ブランド・ポートフォリオの根幹を支える「ウィンストン」「キャメル」「マイルドセブン」「ペンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをGFB（グローバル・フラッグシップ・ブランド）としております。

（注2）当該数値の他に、主としてドイツ市場において展開しているプライベートブランドの当第1四半期の販売数量2億本があります。

※ 当第1四半期における為替レートにつきましては、前年同期比3.07円 円高の1米国ドル＝90.69円（前年同期は1米国ドル＝93.76円）です。

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、後期開発品の充実、研究開発パイプラインの強化に注力しております。開発状況としましては、自社開発品 10 品目が臨床試験の段階にあります。

当第 1 四半期における売上高は、子会社鳥居薬品㈱において「レミッチカプセル（血液透析患者における経口そう痒症改善剤）」「ツルバダ配合錠（抗 HIV 薬）」等の売上高が伸張したこと等から、前年同期比 6 億円増収の 118 億円（前年同期比 6.2%増）となり、EBITDA につきましては、20 億円のマイナス（前年同期の EBITDA は 23 億円のマイナス）となりました。

※ 臨床開発品目につきましては「2011 年 3 月期 第 1 四半期決算説明会資料」の 22 ページをご覧ください。

〔食品事業〕

当第 1 四半期における売上高は、加工食品事業で主として外食向け業務用商品の売上が減少したことに加え、一部子会社を連結対象外とした影響等により、前年同期比 26 億円減収の 962 億円（前年同期比 2.7%減）となりました。EBITDA につきましては、基幹ブランド「ルーツ」、ステープル（冷凍麺、米飯、冷凍パン）、調味料（酵母エキス等）への戦力集中による収益力の向上により、前年同期比 1 億円増益の 40 億円（前年同期比 5.1%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ 365 億円減少し、1,177 億円となりました（前年同期末残高 1,186 億円）。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第 1 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、274 億円の収入（前年同期は 329 億円の収入）となりました。これは、たばこ事業を中心に EBITDA を 1,326 億円計上した一方、カナダにおける行政法規違反による過料の支払、海外市場におけるたばこ税の増税実施に対応した運転資本の一時的増加、法人税及び賞与の支払等があったことによるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第 1 四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、293 億円の支出（前年同期は 130 億円の支出）となりました。これは、有価証券の売却収入等があった一方、有形固定資産の取得等による支出があったことによるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第 1 四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、352 億円の支出（前年同期は 747 億円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入があった一方、コマーシャル・ペーパーの償還、配当金の支払等があったことによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、2010 年 4 月 28 日発表の予想から変更はありません。

なお、当社は、第 2 四半期連結累計期間の業績予想値を算出していないため、当該予想値につきましては記載を省略しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用については、当第1四半期を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2011年3月期 第1四半期決算説明会資料」に記載しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しております。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2010年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,210	155,444
受取手形及び売掛金	306,699	296,884
有価証券	15,486	11,950
商品及び製品	159,661	151,062
半製品	93,336	109,621
仕掛品	5,757	5,522
原材料及び貯蔵品	299,556	288,893
その他	231,413	180,086
貸倒引当金	△3,151	△3,622
流動資産合計	1,227,970	1,195,843
固定資産		
有形固定資産	679,758	679,561
無形固定資産		
のれん	1,377,162	1,387,397
商標権	336,938	350,900
その他	29,470	30,766
無形固定資産合計	1,743,572	1,769,064
投資その他の資産		
投資有価証券	73,113	83,760
その他	168,192	179,061
貸倒引当金	△30,974	△34,695
投資その他の資産合計	210,331	228,127
固定資産合計	2,633,661	2,676,752
資産合計	3,861,632	3,872,595
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,561	149,462
短期借入金	125,315	109,263
コマーシャル・ペーパー	68,000	119,000
1年内償還予定の社債	50,390	50,395
1年内返済予定の長期借入金	22,600	23,024
未払たばこ税	245,615	212,066
未払たばこ特別税	9,918	10,490
未払地方たばこ税	81,813	85,238
未払法人税等	33,535	54,057
引当金	21,682	39,610
その他	280,620	248,926
流動負債合計	1,085,052	1,101,535

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2010年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
固定負債		
社債	397,756	409,014
長期借入金	174,603	149,569
退職給付引当金	248,483	251,902
その他の引当金	727	763
その他	230,784	236,532
固定負債合計	1,052,355	1,047,782
負債合計	2,137,408	2,149,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,406	736,406
利益剰余金	1,304,892	1,310,669
自己株式	△74,575	△74,575
株主資本合計	2,066,724	2,072,501
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,180	12,043
海外連結子会社の年金債務調整額	△26,150	△26,269
為替換算調整勘定	△400,240	△409,160
評価・換算差額等合計	△418,210	△423,387
新株予約権	621	564
少数株主持分	75,088	73,599
純資産合計	1,724,224	1,723,278
負債純資産合計	3,861,632	3,872,595

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年6月30日まで)
売上高	1,463,121	1,467,099
売上原価	1,185,876	1,197,370
売上総利益	277,244	269,728
販売費及び一般管理費	192,970	190,606
営業利益	84,273	79,122
営業外収益		
受取利息	1,472	277
受取配当金	1,181	433
為替差益	1,055	—
その他	1,759	1,668
営業外収益合計	5,469	2,379
営業外費用		
支払利息	8,194	4,568
為替差損	—	2,652
たばこ災害援助金	73	154
その他	2,659	2,539
営業外費用合計	10,928	9,915
経常利益	78,814	71,586
特別利益		
固定資産売却益	9,117	361
投資有価証券売却益	—	1,658
その他	1,125	400
特別利益合計	10,243	2,421
特別損失		
固定資産売却損	1,601	27
固定資産除却損	1,187	732
減損損失	229	788
事業整理損	1,335	—
カナダにおける行政法規違反過料	—	13,267
その他	1,088	5,276
特別損失合計	5,443	20,092
税金等調整前四半期純利益	83,614	53,915
法人税等	39,292	29,554
少数株主損益調整前四半期純利益	—	24,360
少数株主利益	1,452	1,520
四半期純利益	42,869	22,840

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	83,614	53,915
減価償却費	33,256	30,071
減損損失	229	788
固定資産除売却損益(△は益)	△6,982	134
カナダにおける行政法規違反過料	—	13,267
のれん償却額	24,975	23,418
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,075	△1,253
受取利息及び受取配当金	△2,653	△710
支払利息	8,194	4,568
売上債権の増減額(△は増加)	9,907	△11,763
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,363	△33,569
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,392	△6,624
未払金の増減額(△は減少)	△6,245	△9,463
未払たばこ税等の増減額(△は減少)	21,663	32,499
その他	△54,173	△623
小計	74,954	94,654
利息及び配当金の受取額	2,936	1,257
利息の支払額	△7,966	△3,530
カナダにおける行政法規違反過料の支払額	—	△13,267
法人税等の支払額	△36,980	△51,620
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,943	27,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△8,799
有価証券の売却及び償還による収入	903	3,926
有形固定資産の取得による支出	△25,162	△28,329
有形固定資産の売却による収入	12,539	745
無形固定資産の取得による支出	△765	△1,921
子会社株式の取得による支出	△979	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△646
その他	390	5,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,074	△29,393

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年6月30日まで)	当第1四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年6月30日まで)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	22,970	△34,615
長期借入れによる収入	315	30,000
長期借入金の返済による支出	△17,263	△616
社債の発行による収入	99,804	—
社債の償還による支出	△150,000	△50
配当金の支払額	△26,454	△28,416
少数株主からの払込みによる収入	—	219
少数株主への配当金の支払額	△2,446	△303
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,650	△1,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,726	△35,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,268	368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△48,589	△36,789
現金及び現金同等物の期首残高	167,257	154,368
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	194
現金及び現金同等物の四半期末残高	118,668	117,773

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間 (2009年4月1日から2009年6月30日まで)

(単位: 百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部売上高	779,769	568,334	11,142	98,889	4,985	1,463,121	—	1,463,121
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,737	8,816	—	36	2,694	26,284	(26,284)	—
計	794,506	577,151	11,142	98,925	7,680	1,489,405	(26,284)	1,463,121
営業利益又は営業損失 (△)	54,617	33,395	△3,269	△3,695	2,901	83,949	324	84,273

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品 (商品又は役務を含む)

(1) 国内たばこ…製造たばこ (国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場におけるたばこ事業を含んでおります。)

(2) 海外たばこ…製造たばこ

(3) 医薬……………医薬品

(4) 食品……………清涼飲料水、加工食品

(5) その他……………不動産賃貸、リース他

3. 営業費用に含まれているセグメント別の減価償却費、のれん償却額は以下のとおりであります。

減価償却費 (有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)

(単位: 百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	合計	消去又は 全社	連結
前第1四半期 連結累計期間	14,711	13,207	928	4,163	362	33,372	(116)	33,256

のれん償却額

(単位: 百万円)

	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	その他	連結
前第1四半期 連結累計期間	272	21,318	—	3,393	—	24,983

4. 「国内たばこ」には当社の連結子会社であるTSネットワーク㈱を含んでおり、同社は当社たばこ製品の配送業務等のほか外国たばこ製品 (輸入たばこ製品) の卸売販売等の業務を行っております。なお、同社を通じて販売される輸入たばこ製品の売上高は以下のとおりであります。

(前第1四半期連結累計期間) 276,767百万円

5. 「海外たばこ」に区分した海外連結子会社の年度決算日は12月31日であり、2009年1月1日から2009年3月31日までを前第1四半期連結累計期間に計上しております。

セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営陣が経営資源の配分の決定等のために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に製造たばこ、医薬品、食品を製造・販売しており、その内製造たばこについては、国内と海外に分けて事業管理を行っております。

したがって当社グループは、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分されたセグメントから構成されており、「国内たばこ事業」、「海外たばこ事業」、「医薬事業」、「食品事業」の4つを報告セグメントとしております。

「国内たばこ事業」は、国内(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場を含みます)での製造たばこの製造・販売を行っております。「海外たばこ事業」は、製造・販売を統括するJT International S.A.を中核として、海外での製造たばこの製造・販売を行っております。「医薬事業」は、医療用医薬品の研究開発・製造・販売を行っております。「食品事業」は、清涼飲料水、加工食品、調味料の製造・販売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(2010年4月1日から2010年6月30日まで)

(単位: 百万円)

	国内たばこ	海外たばこ (注) 3	医薬	食品	合計
売上高					
(1) 外部売上高 (注) 1	242,399	246,190	11,828	96,215	596,632
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,228	11,879	—	36	19,144
計	249,627	258,070	11,828	96,251	615,776
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	58,390	72,896	△2,092	4,059	133,253

(注) 1. 当社グループでは事業管理上、売上高に含まれるたばこ税相当額を控除した売上高(たばこ税売上高)にて、売上高を管理しております。

なお、国内たばこ事業、海外たばこ事業の外部売上高におけるたばこ税込売上高及びたばこ税売上高の内訳は以下の通りであります。

(単位: 百万円)

当第1四半期連結累計期間	国内たばこ	海外たばこ
たばこ税込売上高	725,373	628,822
たばこ税売上高	242,399	246,190
内、調整後税売上高(*)	146,140	215,135

(*) 国内たばこ事業の売上高には、当社たばこ製品の売上高に加え、他社たばこ製品(輸入たばこ製品)の卸売販売等に係る売上高が含まれております。また同様に、海外たばこ事業の売上高についても、他社たばこ製品の卸売販売を含む物流事業等に係る売上高が含まれております。国内たばこ事業及び海外たばこ事業の業績をご理解いただくにあたり、これらの他社たばこ製品の卸売販売等に係る売上高を控除した売上高が有用であると考え、これを調整後税売上高として開示しております。なお、調整後税売上高測定のため、以下の調整を行っております。

国内たばこ事業においては輸入たばこ、国内免税、中国事業等に係る売上高を控除しております。海外たばこ事業においては物流事業、葉たばこ販売、製造受託等に係る売上高を控除しております。

2. セグメント利益又は損失は、減価償却(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)及びのれん償却前営業利益ベースの数値(EBITDA)であります。

なお、報告セグメントごとの減価償却費及びのれん償却額は以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

当第1四半期 連結累計期間	国内たばこ	海外たばこ	医薬	食品	合計
減価償却費	10,890	13,001	972	4,018	28,882
のれん償却額	272	20,753	—	2,397	23,423

3. 海外たばこに区分したJT International S.A.を中核とする海外連結子会社グループの年度決算日は12月31日であり、2010年1月1日から2010年3月31日までを当第1四半期連結累計期間に計上しております。

3. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第1四半期連結累計期間（2010年4月1日から2010年6月30日まで）

（単位：百万円）

売上高	金額
報告セグメント計	615,776
その他の売上高（注）1	7,432
セグメント間取引消去	△21,716
たばこ税相当額	865,606
四半期連結損益計算書の売上高	1,467,099

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	133,253
その他の利益（注）1	3,319
本社経費（注）2	△4,621
セグメント間取引消去	△295
その他の調整額	959
小計（注）3	132,616
減価償却費	△30,071
のれん償却額	△23,423
四半期連結損益計算書の営業利益	79,122

（注）1. その他の売上高及びその他の利益は不動産賃貸に係る事業活動等を含んでおります。

2. 本社経費は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、企業広報経費や本社コーポレート部門運営費等が含まれております。

3. 小計は全社での減価償却費（有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用含む）及びのれん償却前営業利益ベースの数値（EBITDA）であります。

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。